

Ⅳ-139

大都市外縁部の未成市街地における街路網計画に関する分析

立命館大学大学院 学生員 田中正浩
立命館大学理工学部 正 員 塚口博司
立命館大学大学院 学生員 佐野誠一

1. はじめに

スプロール初期段階にある未成市街地における街路整備に関して、筆者らは先に、たとえスプロールの開発がある程度進行しても最低限の街路ストックが確保されるように、地区の骨格となる街路（中街路）を先行的に整備する必要があることを提案してきた^{1) 2)}。本稿は、大阪府四條畷市清滝地区を取り上げ、当地区におけるアンケート調査に基づいて、スプロール地区の街路整備のキーワードである住民の防災性意識を分析し、中街路計画に関する基礎資料として整理することを目的とする。

2. 調査の概要

本稿で対象とする地区（清滝中町、中野、岡山東、等）は図-1に示す通りであり、1) JR学研都市線沿が丘駅の徒歩圏内に位置すること、2) 大都市外縁部の地区であること、3) 宅地化可能な農地・空閑地が未だ多く存在していること等、から今後市街化が進むことが予想される。当該地区は大阪府が指定する緑住タウン支援事業制度の対象地区14.16ha（空閑地率58.2%、宅地化可能率69.1%³⁾）を含んでいる。住民に対するアンケート調査は、1994年5月に実施し、個人票373票、世帯票184票を回収した。回収率は73%であった。また、スプロール地区の中でも街路整備状況が良くない地区として指摘されている大阪府門真市の石原・大倉地区においても1993年に同じ調査を行っている²⁾。

3. 防災性の観点からみた住民意識

図-2に示すように、清滝地区では緊急車両の進入に対する不安意識を持っている住民は35%存在し、スプロール化がほぼ終了した地区である石原・大倉地区と類似した傾向がみられる。その不安理由として、図-3に示すように、両地区に共通して「道路が狭い」

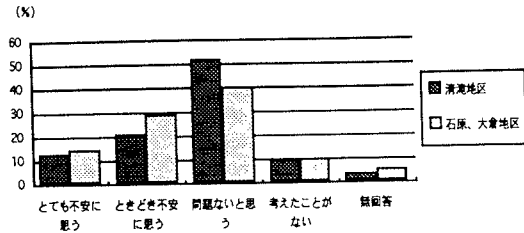


図-2 緊急車進入の不安意識

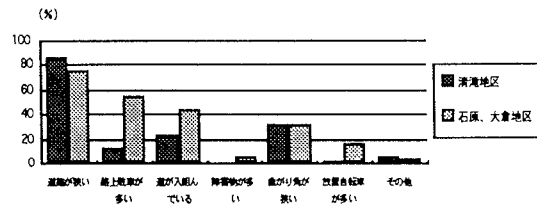


図-3 緊急車進入の不安理由

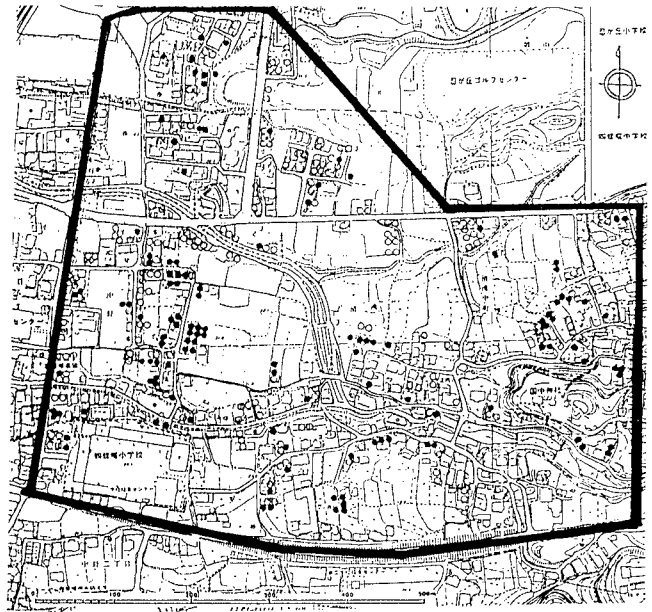


図-1 緊急車進入に不安を持っている住民

が最も多く挙げられている。清滝地区では「路上駐車が多
い」「道が入り組んでいる」は少なくなっている。ここで防
災性に不安を感じている住民の分布を調べるために、「不
安」と「問題ない」とに分け、地図上にプロットした。図-1
に示すように、不安を感じる人が多く存在するエリアは狭幅
員な上、不形成な街路で構成されており、地区の骨格となる
街路から遠い場所が多いことが伺える。次に両地区の防災性
意識と中街路必要意識との関係を図-4に示す。両図より、地
区の防災性に不安を感じる住民ほど、中街路を強く必要と感
じていると言える。すなわち、清滝地区の住民意識において
も防災性の観点から中街路が強く望まれいると言えよう。

4. ゾーン別にみた防災性意識

ここでは対象地区を地形や道路等を考慮して図-5に示す
ように7つのゾーンに分割し、それぞれのゾーンの住民が防災性
の面から地区の街路についてどのような問題意識を持っているか
を検討することとした。検討項目は表-1に示す自宅の位置の説
明、緊急車が家まで入ってこれない不安意識、避難場所の認知、
避難時の道路の安全性についての意識、地区の道路状況について
の意識である。これらの各項目に関する評価を良否の2つに大別
して地図上にプロットするとともに、これをゾーン別に集計し、
清滝地区の全体の平均および石原・大倉地区とのデータと総合的
に検討し、表-2に示す3段階の評価を行った。この表より、非
常に問題とされた項目に着目すると、地区の骨格となる街路から
遠い4、5ゾーンでは自宅の説明が難しく、狭幅員で不形成な街
路が多く存在する3、5、6ゾーンは緊急車進入に不安を感じて
いること等が伺われる。このように当該地区を小規模な単位で区
分すると対策が特に必要なエリアを明らかにす
ることができる。

5. まとめ

清滝地区の住民は、防災性という観点からみ
て地区内の街路のあり方に何らかのの不満を持
っており、地区内に骨格となる中街路の整備を
望んでいることを明らかにした。また今後、本
稿で行った分析に基づいて、中街路網試案を提
案する予定である。なお本研究は、科学研究費補助金試験研究（代表者、中部大
学竹内伝史教授）の一環として実施したものであり、関係各位に謝意を表すと
ともに、調査に協力を頂いた四条畷市建設部都市計画課各位に深謝する次第である。

注） 地区面積（A）、空閑地面積（B）、宅地化可能面積（C）、空閑地率（B/A）、宅地化可能率（C/B）

参考文献

- 1) 住区内街路研究会：人と「おりあい」の道づくり－住区内街路考－鹿島出版会 1989
- 2) 塚口博司 佐野誠一：住民意識を考慮した中街路網計画に関する一考察、土木計画学研究講演集NO.17 1995

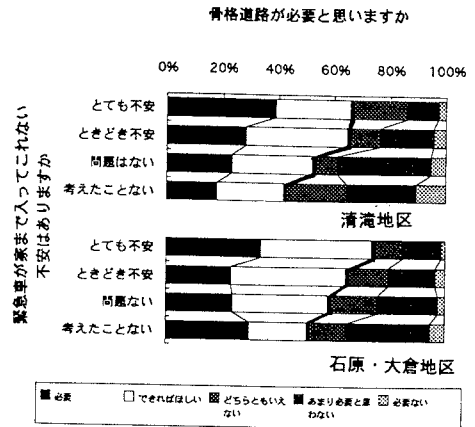


図-4 中街路の必要性と緊急車両に対する進入に対する不安意識



図-5 ゾーン分割

表-1 検討項目

A: 自宅の位置の説明
B: 緊急車進入の不安意識
C: 避難場所の認知
D: 避難時の道路の安全性意識
E: 防災面からみた地区の道路状況の意識

表-2 ゾーン評価

	A	B	C	D	E
ゾーン1	○	△	×	×	×
ゾーン2	○	○	△	×	○
ゾーン3	△	×	○	×	×
ゾーン4	×	○	△	○	△
ゾーン5	×	×	○	○	△
ゾーン6	△	×	△	△	×
ゾーン7	×	×	○	△	×

注) ×: 非常に問題である
△: やや問題である
○: 普通